この「第15回河川財団研究発表会」は「土木学会CPDプログラム」として認定されています

第15回 河川財団研究発表会

期　日：平成29年6月30日（金）13:00～17:00

会　場：一橋大学一橋講堂　中会議室
千代田区一ツ橋2-1-2　TEL. 03-4212-3900（代表）

交　通：都営地下鉄・東京メトロ　神保町駅
（都営新宿線・三田線　東京メトロ半蔵門線）
A9出口徒歩3分

公益財団法人
河川財団

プログラム

13:00　開会・主催者挨拶……河川財団　理事長　関　克己

13:10　これからの維持管理について……河川総合研究所　副所長　八木　裕人

講　演

13:20　講　演

「アレロパシー活性の強い被覆植物を利用した河川の法面管理について」

東京農工大学大学院　農学研究院
国際環境農学部門
教授　藤井　義晴 氏

講演者　プロフィール

藤井　義晴（ふじい　よしはる）

1955年生まれ。兵庫県出身。京都大学農学部卒、同大学院博士課程中退。1981年に農林水産省農業技術研究所に入省し、四国農業試験場、農業環境技術研究所を経て、2011年より東京農工大学農学部に勤務。現在は、東京農工大学大学院教授。この間、東京大学、北海道大学、東京農業大学等にて、客員教授、非常勤講師等を務める。

専門は化学生態学、国際生物資源学。2009年に文部科学大臣表彰科学技術賞、2014年に国際アレロパシー学会業績賞を受賞。主な研究内容は、アレロパシーの強い植物の探索とアレロケミカル（他感物質）の同定・利用、重力屈性阻害物質等によるつる植物の管理、アレロパシーの強い被覆植物の利用など。

研　究　発　表

Ⅰ　戦略的な河川管理（新しい堤防植生管理技術）

14:20　堤防管理からみた堤防植生の新技術　～堤防植生タイプ区分調査の提案～
……河川総合研究所　上席研究員　山本　嘉昭

14:45　新しい堤防植生管理技術Ⅰ　～利根川下流を事例として～……河川総合研究所　研究員　須田　隼人

15:10　新しい堤防植生管理技術Ⅱ　～近畿地整管内を事例として～……河川総合研究所　上席研究員　宝藤　勝彦

15:35～15:45　●●●●●●●●●●●●●　休　憩　●●●●●●●●●●●●●

Ⅱ　戦略的な河川管理（堤防点検の高度化）

15:45　点検評価結果の現状と今後の展開　～点検評価結果公表と河川維持管理ＤＢの活用～
……河川総合研究所　研究員　森永　泰司

16:10　レーザ計測による新しい堤防点検の可能性……戦略的維持管理研究所　主任研究員　河野　隆治

Ⅲ　河川の安全利用　安全な川の活動に向けて

16:35　NO MORE 水難事故2017　～川の中と陸域にまたがる活動における水難事故を防止するための対策～
……子どもの水辺サポートセンター　研究員　菅原　一成

17:00　閉会・挨拶……河川総合研究所　所長代理　藤澤　寛

お申し込み

◎下記の専用フォームよりお申し込みを受け付けております。（参加費無料）

https://www.kasen.or.jp/tabid321.html

※定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。
予めご了承ください。

※お申し込みでいただいた個人情報は、河川財団が責任をもって管理し、今発表会でのみ使用いたします。

〈お問合せ〉・・・河川総合研究所　鈴木・永縄
E-mail　honbu@kasen.or.jp
TEL　03-5847-8304